

〈調査問題 5〉

5 あなたは、手ぬいでぬうとき、どの針を使っ  
てぬうのがよいでしょうか。

① ② ③ ④

長い針 短い針 ししゅう針 ミシン針

こたえ

——調査問題 5 の集計——

(単位%)

項目 学年	1	②	3	4
5	44.3	51.4	4.3	0
6	31.2	67.5	1.3	0

上記のうち、②の短い針を正答とした。短い針は別名ぬい針、長い針はくけ針と昔は呼ばれていた。

現在は、短い針で縫うのを主とし、長い針でぬうのも許容している。ただ初期の指導が慣習から短い針の指導が多いことと、教科書に短い針をもち0.4cm先がでるくらいの針がよいとの選定基準が図示してある関係上②を正解とした。5・6年とも半数以上の者が正答であるが、長針の使用も目立って多くなっている点は注目すべきである。

小学生は手先きの発達と運針練習の少ない関係上、効果の点では(針と指ぬきの関係と手指の動き)長針が好結果がえられていることを見逃してはならない。

〈調査問題 6〉

6 短い針でぬうとき、指ぬきは中指のどこにしますか。1～3のうちえらびなさい。

1 2 3

こたえ

調査問題 6 は、5 の問題と関係が深いですが、短針使用の場合、指ぬきをどこにするか調査してみた。

——調査問題 6 の集計——

指ぬきは、第1関節と第2関節のあいだにするのが正解である。5年51.4%、6年60.0%の半数の者が正答であった。3と答えた誤りの者は、5年28.6%、6年29.3%で、2と答えた者が5年20%、6年10%とあり、誤答計が5年48.6%、6年40.0%を占めていた。誤答例は、実験実習をとおすことによって、針が指ぬきからはずれ、うまく運針が運ばないし、まず実習することから正しく是正することに、期待をかけた。

〈調査問題 7〉

7 あなたは、なみぬいの針目は、つぎのどれがよいと考えてますか。1つえらんでください。

— — — — — 1  
 - - - - - 2  
 - - - - - 3  
 \ \ \ \ \ 4  
 - - - - - 5

こたえ

• そのわけはなぜですか

——調査問題 7 の集計——

(単位%)

項	目	5 年	6 年
1	— — — — —	41.4	56.0
2	- - - - -	12.9	6.7
3	- - - - -	2.8	9.3
4	\ \ \ \ \	12.9	5.3
5	- - - - -	30.0	22.7

1 は、表と裏が同じ針目のもの、2 は波のような針目、3 は大小の針目でふぞろいのもの、4 はなわのようによじれた針目、5 は表の針目が大きく裏の針目の小さいものを図示してみた。1 の正解は、5